

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート西有田にじいろ		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日		~ R7年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	R6年 11月 28日		~ R6年 12月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育	利用者の特性に応じて、集団遊びの運動の質を変更して行っています。 一度で出来なくても次回利用時にも行うことで出来る事が 増え、成功体験を増やしていく事を心掛けています	・自由遊びは新しい遊びを取り入れていきたい ・集団遊びは同じ遊びを繰り返し行うことで出来なかった ことが出来るようになり成功体験から自信に繋げる
2	リトミックによる療育	・準備体操の発声の順番を毎回同じにしていることで自然と 身につくようにしている ・出来なくても見守り、参加することに意義がある	音を聞き取る力やリズム感だけではなく、注意力・集中力 ・想像力が引き出せるように楽しみながらおこなっていか うと思います
3	敷地内に畑が有り、自然(野菜・虫)に触れる機会が多く四季を 通して食育出来る	子どもたちに苗植えから草むしり、害虫の駆除、収穫の一連の 作業を行ってもらい、収穫したものでクッキングを行うことで 食に対する興味を持ってもらう。また昆虫採取を行うことで生 き物への関心を持ってもらう。	今後も様々な野菜を育てて、食に関心を持ってもらい苦手な 野菜が少しでも食べれるように工夫していきます

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育場所がワンフロアなので、自由時間の静と動の遊ぶ場所 が重なるとトラブルになる	静かな遊びの場所にボールが飛んてくる。 仕切りがない。	・静かな遊びの場所をパーテーションで囲い、ボールが飛ん てきて支障がないようにしている。 ・遊び初めに半分に分けて遊び始めてもらう。
2			
3			

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート西有田にじいろ		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日		～ R6年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	R6年 11月 28日		～ R6年 12月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育	利用者の特性に応じて、集団遊びの運動の質を変更して行っています。 一度で出来なくても次回利用時にも行うことで出来る事が 増え、成功体験を増やしていく事を心掛けています	・自由遊びは新しい遊びを取り入れていきたい ・集団遊びは同じ遊びを繰り返し行うことで出来なかった ことが出来るようになり成功体験から自信に繋げる
2	リトミックによる療育	・準備体操の発声の順番を毎回同じにしていることで自然 と身につくようにしている ・出来なくても見守り、参加することに意義がある	音を聞き取る力やリズム感だけではなく、注意力・集中力 ・想像力が引き出せるように楽しみながらおこなっていか うと思います
3	敷地内に畑が有り、自然(野菜・虫)に触れる機会が多く四季を 通して食育が出来る	子どもたちに苗植えから草むしり、害虫の駆除、収穫の一連の 作業を行ってもらい、収穫したものでクッキングを行うことで 食に対する興味を持ってもらう。また昆虫採取を行うことで生 き物への関心を持ってもらう。	今後も様々な野菜を育てて、食に関心を持ってもらい苦手な 野菜が少しでも食べられるように工夫していきます

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育場소가ワンフロアなので、自由時間の静と動の遊ぶ場所 が重なるとトラブルになる	静かな遊びの場所にボールが飛ん でくる。 仕切りがない。	・静かな遊びの場所をパーテーションで囲い、ボールが飛ん できて支障がないようにしている。 ・遊び初めに半分に分けて遊び始めてもらう。
2			
3			

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドハート 西有田にじいろ		公表日		R7年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	R6年 11月 28日	6	0	施設基準を満たしており、様々な活動に対して十分な広さを確保できています。	今後も継続して取り組んでいきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	専門性・資格がある職員を適正に配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	分かりやすく視覚表示などを使い対応しています。また、クールダウン出来るスペースもあります。	活動スペースの段差など気になる箇所はありません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日始業前に点検を行い、気づいたときにすぐに清掃を行なっています。	今後も継続して行い、心地よい空間を提供していきます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	クールダウンできる場所や段ボールを使ったパーティションで個別になれるようにしています。	子どもの気持ちに寄り添い、1人の空間で心地よくなるようにしていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	日々の業務の中での問題点やヒヤリハットなどについてミーティング時に話し合い、職員間で共有・改善に努めています	今後も継続して取り組んでいきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者評価アンケートやハートリンク、LINE連絡などから保護者の意向を把握し、職員間で共有して業務改善に努めています	保護者様の評価、ご意見をもとに今後も業務改善に向けて取り組みます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的な職員会議で意見を出し合い、みんなで協議し業務改善に努めています。	意見が出しやすい環境を作っていきます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	実施していない	第三者評価は実施していないが、チャイルドハート本部から定期的な運営や支援に対する助言をいただいています	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	チャイルドハート本部主催の人材育成・支援力強化研修に参加しています。	今後も継続して取り組み、質の向上に努めます	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	作成は出来ています	令和7年1月よりホームページに記載	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	保護者のニーズを把握したうえで、職員との会議を行い個々にあった計画書作成を行っています	定期的な見直しを行っていきます	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管を中心に話し合いより良い支援になるように意見を出し合っています	今後も継続して行っています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	常に職員間で情報共有を行い支援しています	職員間で支援内容の周知・確認を行い支援していきます	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	チャイルドハートの統一書式を使用して確認しています	成長に合わせて便宜変更していきます	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	職員と児発管が定期的なアセスメントを取り、その子にあった計画や目標を設定するようにしています	児発管を中心に職員間で情報を共有して作成していきます	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	全員で意見を出し合っています	今後も継続していきます	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節に合った活動をマンネリしないようにおこなっています	身体を動かすことを中心に活動内容を工夫していきます	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	ひとり1人の課題や特性を踏まえて作成しています	状況の応じて見直しを行っていきます	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日ボードに記載して確認を行っています	今後も連携して行っています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終了後も行っていますが、必要な情報はその都度情報共有に努めています	支援内容の確認・反省を行い、情報共有を行って行きます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日その日の活動内容や様子を記録して、次の支援の課題を検討しています	支援終了後、個別支援状況を記載して支援につなげて行きます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6か月以上に1回アセスメントを取り、計画を作成しています	児童の支援に適した見直しを行って行きます
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管だけでなく、場合によっては現場の職員も参加しています	今後も継続して参加して行きます
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	各関係機関との情報共有を行い、連携を図っています	今後も情報共有を行って行きます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	児発管が事前に関係機関・保護者・相談支援専門員と協議して実施しています	今後も取り組んで行きます
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	事業所での様子など情報共有を図り、必要な時は担当者会議を行ったりと相互理解を図っています	必要に応じて電話連絡や学校訪問を行って行きます
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	状況に応じて他機関との連携をとり、助言を受けています	連携は今後も引き続き実施し、助言を支援内容に反映して行きます
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	実施していないが、公園や外出先で触れ合う機会を作っています	今後も公共の場での交流を作っています
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回の利用後に連絡ツールを使い支援内容を伝え共通理解を持って支援しています	引き続き共通理解を持って進める事が出来るように努めています	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	必要に応じて相談・助言を行っています また情報提供も行っています	今後もここに合わせて対応して行きます	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に重要事項の説明や分かりやすい言葉で丁寧に説明しています	今後も引き続き丁寧な対応を行います
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談を行い保護者の意向を確認しています	保護者の意見を尊重し、支援計画を行って行きます
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	分かりやすい説明を心掛けています	今後も継続して行って行きます
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて保護者様と連絡を取り、電話や面談を行っています	適切な助言が出来るように勉強して行きます
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	年に一度全体の保護者会を開催しています	今後も継続して行っていき、交流の機会を作っています

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	連絡ツールを通じて相談があった場合は、迅速に対応しています	今後も継続して行っていきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月一のお便りやInstagramにて発信しています	今後も継続して行っていきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの書庫に保管し、破棄する場合はシュレッダーを使っています	今後も十分に配慮していきます
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	必要な児童に対しては絵指示やカードを使用したり、声かけを増やしたりしています	今後も配慮していきます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	現在は行っていません	今後機会がありましたら行っていきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを作成し職員間で共有しています。保護者様にはお便りやSNSを使いお知らせしています	今後も継続して行っていきます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年間計画を立て、避難経路・避難場所・避難方法の確認、災害時の対応を確認しています	分かりやすい内容の教材を利用して実施してきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に確認しています	職員にも子ども状況を共有しています
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時に確認を行い、必要に応じて保護者様に医師の指示書を提出していただき対応しています	アレルギーの状況を共有しています
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	計画を作成し、必要な研修・訓練を行っています	今後も継続して行い、安全な中での支援を行います
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に説明を行い周知しています	今後も継続して行い、連携していきたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを記入後、職員間で共有して再発防止のために話し合っています	再発防止に努めます
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年一回外部研修を行っています	引き続き研修に参加して、適切な対応を行います
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	危険が伴う時などに行う。契約時に施設の施錠を行うことを伝えています。	身体拘束がない支援を提供してきます	

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

公表日 R7年 2月 15日

事業所名	チャイルドハート西有田にじいる				
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	6	0	施設基準を満たしており、様々な活動に対して十分な広さを確保できています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	2	6	0	専門性・資格がある職員を適正に配置しています。	
	3	6	0	分かりやすく視覚表示などを使い対応しています。また、クールダウン出来るスペースもあります。	活動スペースの段差など気になる箇所はありません。
	4	6	0	毎日始業前に点検を行い、気づいたときにすぐに清掃を行なっています。	今後も継続して行い、心地よい空間を提供していきます
	5	6	0	クールダウンできる場所や段ボールを使ったパーテーションで個別になれるようにしています。	子どもの気持ちに寄り添い、1人の空間で心地よくなるようにしていきます。
業務改善	6	6	0	日々の業務中での問題点やヒヤリハットなどについてミーティング時に話し合い、職員間で共有・改善に努めています	今後も継続して取り組んでいきます。
	7	6	0	保護者評価アンケートやハートリンク、LINE連絡などから保護者の意向を把握し、職員間で共有して業務改善に努めています	保護者様の評価、ご意見をもとに今後も業務改善に向けて取り組みます
	8	6	0	定期的な職員会議で意見を出し合い、みんなで協議し業務改善に努めています。	意見が出しやすい環境を作っていきます
	9	4	2	実施していない	第三者評価は実施していないが、チャイルドハート本部から定期的に運営や支援に対する助言をいただいています
	10	6	0	チャイルドハート本部主催の人材育成・支援力強化研修に参加しています。	今後も継続して取り組み、質の向上に努めます
適切な支援の提供	11	6	0	作成は出来ています	令和7年1月よりホームページに記載
	12	6	0	保護者のニーズを把握したうえで、職員との会議を行い個々にあった計画書作成を行っています	定期的な見直しを行っていきます
	13	6	0	児発管を中心に話し合いより良い支援になるように意見を出し合っています	今後も継続して行っています
	14	6	0	常に職員間で情報共有を行い支援しています	職員間で支援内容の周知・確認を行い支援していきます
	15	6	0	チャイルドハートの統一書式を使用して確認しています	成長に合わせて便宜変更していきます
	16	6	0	職員と児発管が定期的にアセスメントを取り、その子にあった計画や目標を設定するようにしています	児発管を中心に職員間で情報を共有して作成していきます
	17	6	0	全員で意見を出し合っています	今後も継続していきます
	18	6	0	季節に合った活動をマンネリしないようにおこなっています	身体を動かすことを中心に活動内容を工夫していきます
	19	6	0	ひとり1人の課題や特性を踏まえて作成しています	状況の応じて見直しを行っていきます

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日ボードに記載して確認を行っています	今後も連携して行っています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終了後も行っていますが、必要な情報はその都度情報共有に努めています	支援内容の確認・反省を行い、情報共有を行っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日その日の活動内容や様子を記録して、次の支援の課題を検討しています	支援終了後、個別支援状況を記載して支援につなげていきます
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6か月以上1回アセスメントを取り、計画を作成しています	児童の支援に適した見直しを行っています
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	6	0	ガイドラインの基本活動を常に意識して、日々の支援にあたっています	今後も継続して支援を行います
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	進んで支援に参加出来るように、子どもの特性に応じて選択肢（絵カード、指さし、声掛けのみ）の方法を変えて行っています	今後も継続して行っています
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管だけでなく、場合によっては現場の職員も参加しています	今後も継続して参加して行きます
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	各関係機関との情報共有を行い、連携を図っています	今後も情報共有を行って行きます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	担任の先生方と送迎時に情報の共有に努め、子どもたちが困らないような環境作りを努めています	今後も引き続き情報共有を行って行きます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	児発から放デイに上がられるお子様は事前に関係機関・保護者様・相談支援専門員と情報共有を行っています	今後も継続して共有を行って行きます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	今のところは対象者がいません	今後対象者がいましたら情報の提供を行います
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	状況に応じて他機関との連携を取り、助言を受けています	連携は今後も引き続き実施し、助言を支援内容に反映して行きます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	実施していないが、公園や外出先で触れ合う機会を作っています	今後も公共の場での交流を作っていきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	伊万里有田地区自立支援協議会の研修に管理者が参加しています	今後も参加して行きます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回の利用後に連絡ツールを使い支援内容を伝え共通理解を持って支援しています	引き続き共通理解を持って進める事が出来るように努めています
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	必要に応じて相談・助言を行っています また情報提供も行って行きます	今後もここに合わせて対応して行きます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に重要事項の説明や分かりやすい言葉で丁寧に説明しています	今後も引き続き丁寧な対応を行います
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談を行い保護者の意向を確認しています	保護者の意見を尊重し、支援計画を行って行きます
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	分かりやすい説明を心掛けています	今後も継続して行っています
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて保護者様と連絡を取り、電話や面談を行っています	適切な助言が出来るように勉強して行きます
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	年に一度全体の保護者会を開催しています	今後も継続して行っており、交流の機会を作っていきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速かつ適切に対応できるようにしています	迅速かつ適切な対応に努めます

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月一のお便りやInstagramにて発信しています	今後も継続して行っています
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの書庫に保管し、破棄する場合はシュレッダーを使っています	今後も十分に配慮していきます
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	必要な児童に対しては絵指示やカードを使用したり、声かけを増やしたりしています	今後も配慮していきます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	現在は行っていません	今後機会がありましたら行っています
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを作成し職員間で共有しています。保護者様にはお便りやSNSを使いお知らせしています	今後も継続して行っています
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年間計画を立て、避難経路・避難場所・避難方法の確認、災害時の対応を確認しています	分かりやすい内容の教材を利用して実施していきます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に確認しています	職員にも子ども状況を共有しています
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時に確認を行い、必要に応じて保護者様に医師の指示書を提出していただき対応しています	アレルギーの状況を共有しています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	計画を作成し、必要な研修・訓練を行っています	今後も継続して行い、安全な中での支援を行います
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に説明を行い周知しています	今後も継続して行い、連携していきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを記入後、職員間で共有して再発防止のために話し合っています	再発防止に努めます
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年一回外部研修を行っています	引き続き研修に参加して、適切な対応を行います
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	危険が伴う時などに行う。契約時に施設の施設を行うことを伝えています。	身体拘束がない支援を提供していきます